

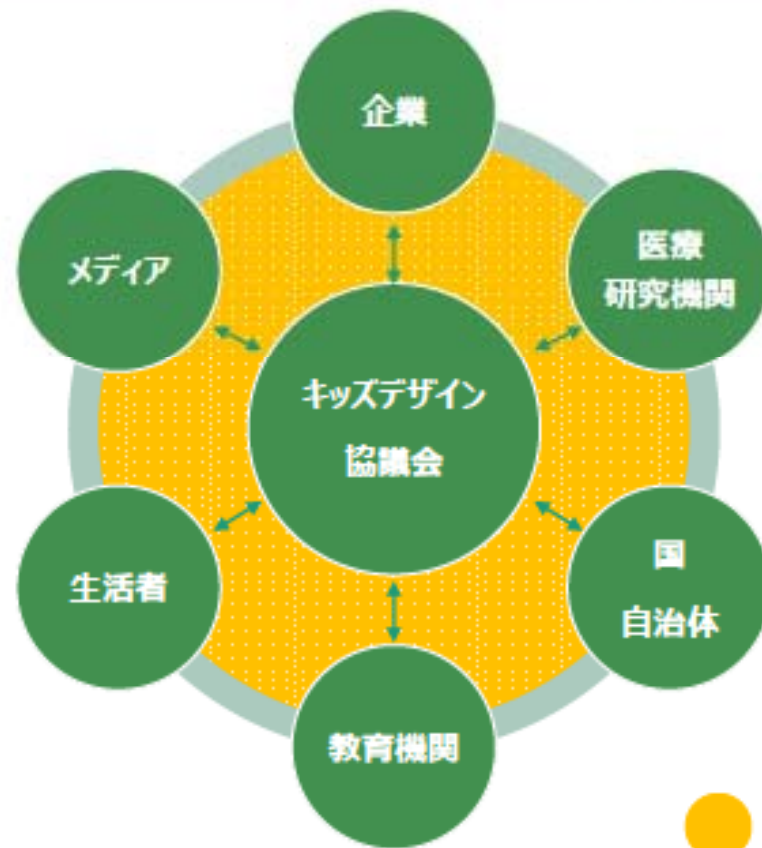
子ども視点で、未来をつくる



2019年12月24日

キッズデザイン協議会

特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会とは



企業・団体を中心に業界横断的な
ネットワークによる子ども視点の
プラットフォームから
社会環境の向上を進めています。

● 子ども視点

キッズデザイン協議会 会員一覧 (113会員)

■ 企業：67社

安藤ハザマ
イオン
イオンファンタジー
ウッドライフホーム
ADKマーケティング・ソリューションズ
SCSK
大阪ガス
オージーケーカプト
鹿島建設
学研ホールディングス
芸術造形研究所
コクヨ
児島
コトブキ
コピーアンドアソシエイツ
コープデリ生活協同組合連合会
コクヨ
コンビ
西部ガス
清水建設
ジャクエツ
住友林業
ズーム・ティー
西武ホールディングス
積水化学工業
積水化成工業
積水ハウス
セコム

タイガー魔法瓶
大賀建設
ダイナマークス
テクノメディア
電通
東急建設
東京ガス
トータルメディア開発研究所
TOTO
凸版印刷
トリビュート
ナブテスコ
日本自動ドア
日本生活協同組合連合会
日本生命保険
農林中央金庫
野口直樹建設設計事務所
パナソニック
阪急阪神百貨店
東日本旅客鉄道
日比野設計
富士通
フレーベル館
文化シャッター
ホロンクリエイト
本田技研工業
マツダ
ミサワホーム

みずほ銀行
三井住友銀行
三越伊勢丹
三菱電機
三菱UFJ銀行
森ビル
ヤマダホームズ
ユニバーサルデザイン総合研究所
LIXIL住宅研究所
レーベン
YKK

■ 個人：1名

■ 団体等：5団体

高度技術社会推進協会 (TEPIA)
札幌消費者協会
札幌市立大学
GIS総合研究所
Deep People

■ アドバイザー：7団体

wiwiv
経済産業省
産業技術総合研究所
日本インダストリアルデザイナー協会
日本小児科学会
日本品質保証機構
人間生活工学研究センター

■ オブザーバー：6団体

国立成育医療研究センター
製品評価技術基盤機構
東京学芸大学
日本赤十字社
日本デザイン振興会
モノづくり日本会議

■ 自治体：27自治体

板橋区
宇部市
愛媛県
大阪府
岡山県
神奈川県
金沢市
川崎市
熊本県
神戸市
札幌市
下関市
世田谷区
丹波篠山市
萩市
東温市
東京都
徳島県
長野県
名古屋市
福井県
文京区
松山市
三木市
宮城県
横浜市
陸前高田市

2019年11月現在

キッズデザイン協議会設立の背景

2004年3月 大型複合施設の自動回転ドア事故発生



産業界、省庁、自治体、医療機関で子どもの不慮の事故を防ぐ動きが活発化



子ども目線や基準での安全安心な製品デザインの開発推進及び普及
⇒子どもたちの安全安心向上、健やかな成長発達を促す社会づくりに寄与する



キッズデザイン協議会設立

3つのデザインミッション <基本コンセプト>



子どもたちの
安全・安心に貢献するデザイン

子どもたちの
創造性と未来を拓くデザイン

子どもたちを
産み育てやすいデザイン



キッズデザイン宣言

すべての子どもは社会の宝であり、未来そのものです。
キッズデザイン協議会は社会の変化を敏感にとらえ、
さまざまなステークホルダーとともにオープンイノベーションを起こし、
その未来が持続的で明るいものであるよう行動します。

- 出席、育児と働くことがどちらも喜びであるよう、考え、実践します。
- 子どもと過ごす時間が豊かなものであるよう、行動します。
- 子育てに関する情報へのアクセスをわかりやすく、容易にします。
- 子どもとともにいつでも、どこでも外出しなくなる環境をつくります。
- 子育てする人すべてが交流と支援を享受できる場づくりをサポートします。
- コミュニティが支える子育ての大切さを共有し、その支援を行います。
- 地域と社会の若者や高齢者と、子どもが接する機会を増やします。
- 子どもにとっての遊びと学びの普遍と変化を研究し、開発し、実践します。
- 子どもが自発的、継続的に体験、経験を積める機会をたくさんつくります。
- 不慮の事故による子どもの犠牲をゼロにする努力をします。

2017年6月5日

キッズデザイン協議会

キッズデザイン協議会の事業活動

子ども視点をわかりやすく社会に広める活動

- キッズデザイン賞
- 受賞作品を通じた広報活動

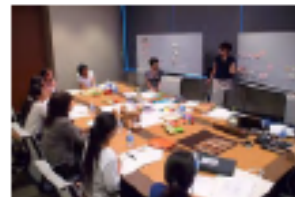


KIDS
DESIGN
AWARD



子ども視点で新たな価値を見つける活動

- 調査研究
- プロジェクト
- 情報交換会



- キッズデザインの標準化

企業が子どもの安全性向上につながるプロセスを導入できる仕組み

CSD
CHILD SAFETY
through DESIGN

キッズデザイン賞について

子ども視点から生まれた新たな価値や優れた取り組みにスポットライトを当てる制度。

2007年のキッズデザイン協議会創設以来、13回のキッズデザイン賞を実施しています。

累計応募数 **4,986**点

入賞数 **2,968**点

＜キッズデザイン賞＞ 子ども視点をわかりやすく社会に広める活動

■ 賞体系

分野	子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン		子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン			子どもたちを産み育てやすいデザイン		
	子ども部門	一般部門	クリエイティブ部門	リテラシー部門	消費者育成部門	個人・家庭部門	地域・社会部門	男女共同参画部門
最優秀賞	内閣総理大臣賞 ※第7回（2013年）から							
優秀賞	経済産業大臣賞	経済産業大臣賞	経済産業大臣賞	経済産業大臣賞	消費者担当大臣賞	少子化担当対策大臣賞	少子化担当対策大臣賞	男女共同参画担当大臣賞
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞		キッズデザイン協議会会長賞			キッズデザイン協議会会長賞		
特別賞	審査委員長特別賞		審査委員長特別賞			審査委員長特別賞		
	東京都知事賞							
	TEPIA特別賞							
	キッズデザイン賞（入賞作品）							

キッズデザイン賞審査委員 18名



益田 文和
インダストリアルデザイナー
オープンハウス 代表取締役



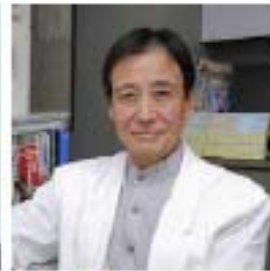
赤池 学
科学技術ジャーナリスト
エド・ザ・デザイン総合研究所所長



無藤 隆
教育心理学者
白梅学園大学大学院特任教授



持丸 正明
産業技術総合研究所
人間情報研究部門 研究部門長



山中 遼宏
小児科医
緑園こどもクリニック院長



赤松 佳珠子
建築家/Catパートナー
法政大学 教授



赤松 幹之
産業技術総合研究所自動車エレクトロニクス研究センター 主席研究員



五十嵐 久枝
インテリアデザイナー
筑波芸術大学 教授



大月 ヒロ子
ミュージック・IT・コミュニケーション・アイデア 代表



岡岡 章
拓殖大学 教授
理工学総合研究所 所長



定行 まり子
日本女子大学
教授



竹村 真一
文化人類学者 京都造形芸術大学
教授 Earth Literacy Program 代表



西田 佳史
産業技術総合研究所
人工知能研究センター 主席研究員



横田 規子
プロダクトデザイナー
芝浦工業大学 教授



水戸岡 鋭治
デザイナー
トーンデザイン研究所 代表



宮城 俊作
ランドスケープアーキテクト
設計組織PLACEMEDIA・パートナー



森本 千絵
コミュニケーションディレクター
アートディレクター



山中 敏正
筑波大学
美術系長 教授

第13回（2019年）のキッズデザイン賞



263点



第13回（2019年）のキッズデザイン賞

受賞数263点（応募数：437点）

応募者は、キッズデザインの3つのデザインミッションから設けられた以下より応募部門を選択。

《子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン》・・・76点

子どもの安全・安心に寄与する製品、建築・空間、サービス、活動、研究など。子ども向け、あるいは一般向けの製品、建築・空間、サービス、活動、研究において、安心・安全に配慮されたもの。

《子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン》・・・106点

子どもの創造性や感性に寄与する製品、建築・空間、サービス、活動、研究など。子どもの創造性・感性の育成、多様な知識の習得や運動能力の向上に役立つもの。また、そこに新たな発想、工夫、手法があるもの。

《子どもたちを産み育てやすいデザイン》・・・81点

子どもや子育てに関わる人々に寄与する製品、建築・空間、サービス、活動、研究など。妊娠・出産・子育てに関わる人が利用する製品、建築・空間、サービス、活動、研究において、安全かつ楽しく育児に取り組める工夫がなされたもの。保育園、学校、自治体、地域などで利用されるものも含む。また、子育て期の男女が、育児や仕事、地域との交流などに積極的に参加するための新たな発想、工夫、手法があるもの。

事業者への影響－応募数推移（2014－2019年）





第12回（2018年）
内閣総理大臣賞



最優秀賞

留めやすく、外しやすい 解放機能付きファスナー

QuickFree[®]
YKK株式会社



第12回（2018年） 消費者担当大臣賞

優秀賞(子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門)

生産者と消費者をつなぐ立ち位置を活かした多様な取組

子育て支援

コープデリ生活協同組合連合会



コープデリの
子育て応援

第12回（2018年） キッズデザイン協議会会長賞

優秀賞（子どもたちを産み育てやすいデザイン部門）

高齢者・障がい者の見守り活動を子ども主体で行う

SDGsこども見守り隊「きみも今日からきりっこキッズ見守り隊」

近江八幡市





第13回(2019年) 内閣総理大臣賞



最優秀賞

運動と対話を通じてデジタル技術を学ぶ

フライングディスク運動型STEAM教育プログラム

Terada3DWorks



KIDS DESIGN
VIEW 7/14号

課題

子どもたちはスマートフォンやゲーム、デジタル教育で室内にこもりがち



解決

3Dプリンターを活用した運動型教育プログラムを開発

第13回（2019年）
経済産業大臣賞

優秀賞 | 子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン | 一般部門

新技術を採用した安全設計のコンロ

ガスビルトインコンロ「アバンセ」

株式会社パロマ / 大阪ガス株式会社



KIDS DESIGN
VIEW 100000

問題

キッチンのお手入れで
子どもに火傷の危険



解決

センサー機能で
着火音も耳で

第13回（2019年） 消費者担当大臣賞

優秀賞 | 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン | 消費者育成部門

生活に密着した職業体験から地域の魅力を知る

おしごと体験広場 キッズハローワーク

おしごと体験広場 キッズハローワーク実行委員会



KIDS DESIGN
VIEW 2019

課題

子どもたちは
働く価値を体感しないまま
社会に出ていく



解決

働くことで経済的関係の
大切さを学び
地域の活性化を目指す

受賞事業者への影響ーメリット

■受賞者メリット

- キッズデザインマークを使用して、幅広く受賞をPRし、企業姿勢を社会に発信
- 受賞作品集(コンセプトブック)、受賞作品検索サイトに受賞者、受賞作品、賞名等を掲載
- 各地で開催されるイベントやワークショップで受賞作品を展示
- 表彰式/記者発表会等で様々なメディアが取材⇒注目度、認知度向上



受賞事業者への影響－反響、効果

■ 受賞者の声(受賞者アンケートより抜粋)

<ブランドイメージ、受賞作品の価値向上>

- ・商品、企画自体の注目度が上がった
- ・社内外の認知があがった
- ・商品への信頼度UP
- ・インナーブランディングの向上と消費者へのアピールにつながっている

<認知向上>

- ・主に建築関係者等に事務所の存在が広く知れ渡った
- ・得意先企業への認知が上がった
- ・受賞入リリースを見て、新規客から相談があった

<関係者の意欲向上>

- ・施設利用者の関心が高まった。関係者のデザインに対する意識向上
- ・関連部門の意欲向上につながる
- ・お客様に商品を進めやすくなった
- ・仕事の励みになる。モチベーションの向上につながる

受賞事業者への影響-マスコミの反響

■ キッズデザイン賞記者発表会・表彰式におけるメディア取材

取材各社：NHK, CBCテレビ, 東海テレビ、テレビ愛知、宮崎放送、福島民友新聞、陸奥新報、日本文具新聞、日刊建設通信新聞、通販新聞 等

■ 協議会主催イベントへの取材

取材各社：NHK, 朝日新聞、リビング新聞、夕刊フジ、ガラス新聞等 *全国紙は地域版含む

■ 受賞企業への取材

取材各社：朝日新聞、読売新聞、中日新聞、西日本新聞等 *全国紙は地域版含む

■ 日本経済新聞朝刊 2 P の広告出稿 (2019年2月28日)

次回第14回（2020年度）キッズデザイン賞

募集期間：2020年3月2日～5月8日



8月8日はキッズデザインの日

<https://kidsdesignaward.jp>



ご清聴ありがとうございました